

岩絵の具で知る、 太清さんの色のひみつ！

～天然の石が”絵の具”になる瞬間を体験しよう～



自分でつくった絵の具で
描くっておもしろい！

1 岩絵の具とは？
＜ミニレクチャー＞

2 絵の具を作ろう！

3 ミニ色紙に
描いてみよう！



太清さんはどうやって
絵の具を作っていたの？

講師



川嶋 渉 かわしま わたる

1966年京都府にて画家の家系に生まれる。1989年京都精華大学で日本画を学び、日展を中心に作品を発表している。2005年より京都市立芸術大学で教鞭を取り、後進の育成に意を注ぐ。現在は同大学の教授及び副学長を務める。2025年第38回京都美術文化賞、2026年第44回京都府文化賞功労賞。



安田 晴美 やすだ はるみ

美術史家・福知山市佐藤太清記念美術館顧問。佐藤太清の孫。太清の著作物管理・展覧会企画・執筆等を中心に活動。(株)歌舞伎座美術アドバイザーとして歌舞伎と日本画のコーディネート等を務める。日展外部審査員委嘱2回。社会と日本画の糸口をさぐる「日本画の活用」がライフワーク。

2026 **3.15** 日 12:30 受付
13:00～15:30

【場 所】 市民交流プラザふくちやま 市民交流スペース 【参加費】 1,500円／子ども1名
京都府福知山市駅前町400 (JR福知山駅北口すぐ) (材料費相当)

【対 象】 年長(5歳児)～小学6年生
※保護者の方も一緒にご参加ください。

【定 員】 15名

主 催
お問合わせ

一般社団法人
福知山芸術文化振興会
050-3198-9596
(受付時間: 10:00～17:00)

お申し込み

電子チケットにてご予約ください。

<https://teket.jp/5587/61908>

電子チケットでのご購入が困難な方は
右記のお電話での予約も承っております。

